

know (≠No) More Cancer

10th
breast cancer experienced coordinator

Breast cancer Experienced Coordinator

Breast cancer
Experienced
Coordinator
BEC

乳がん体験者コーディネーター
養成講座第10期生募集要綱・実施要綱

2014年7月4日(金) 開講

受講申込開始：2014年5月7日(水)～10月31日(金)

この講座を運営する団体

NPO法人

がんサネットジャパンとは

NPO 法人がんサネットジャパン
〒113-0034 東京都文京区湯島 1-10-2
御茶ノ水 K&K ビル 2F
TEL: 03-5840-6072 FAX: 03-5840-6073
問い合わせメール: info-bec@cancernet.jp

わたしたちがんサネットジャパンは、がん患者が本人の意思に基づき、治療に臨むことができるよう患者擁護の立場から、科学的根拠に基づくあらゆる情報発信サービスの提供を目指すことをミッション（使命）とし、がん体験者・家族・遺族、その支援者、そして医療者と共に、日本のがん医療を変え、がんになっても生きがいのある社会の実現をヴィジョン（夢）とし、活動を続けてきました。

その理由は、がんと診断された患者・家族は、氾濫するがん医療情報の中、医療提供者と受益者間で情報の非対称性の大きいがん医療において、科学的根拠に基づく、正しい情報にたどり着く事が困難であり、医療提供者と受益者（患者・家族）の間に立ち、受益者擁護の立場から、情報発信する必要性があったからです。私たちは今後も、がん患者や家族、また医療にかかわるあらゆる人々へ情報を発信し続けてまいります。

株式会社ソラストとは

株式会社ソラスト 教育サービス
〒108-8210 東京都港区港南 1-7-18
DBC 品川東急ビル 6F
TEL: 0120-33-5533
問い合わせメール: kyouiku@solasto.co.jp

日本初の医療事務の専門養成機関として、創業以来培ってきたノウハウを活かし、医療関連事業および福祉事業の現場で即戦力となる人材を育成。医療事務講座や介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー講座）など医療・福祉に特化した講座を開講しています。また、学習後の雇用促進にも注力し、受講から資格取得、就職までワンストップでサポートしています。

- ・本養成講座の企画および管理（講師選定、講義科目選定、前期修了試験関連、後期講座受講関連、修了証・認定証発行等）は NPO 法人がんサネットジャパンがおこなっています。
 - ・申し込み・事務手続き（養成講座の申込受付、受講料の入金確認、ID・PW の発行、視聴・資料ダウンロード等）は株式会社ソラストに委託しています。
- ※お問い合わせの際は、内容により問い合わせ先をご確認のうえ、**NPO 法人がんサネットジャパン、あるいは株式会社ソラストへ、メールにてご連絡ください。**

目次

01. 講座概要	……3p	10. 受講の手続き	……8p
02. 受講期間	……3p	11. 受講の方法	……9p
03. FAQ よくある質問	……3p	12. 前期講座の内容	……9p
04. 受講者の声	……4p	13. 前期修了試験	……10p
05. 開講の背景	……6p	14. 後期講座の内容	……10p
06. 開講の目的	……7p	15. 認定までの流れ	……11p
07. 受講資格	……7p	16. 認定後の各種手続きと認定継続要件等	……11p
08. 受講料	……8p	17. 認定後の活動	……11p
09. 申込期間	……8p		

01. 講座概要

「乳がん体験者コーディネーター養成講座」は、インターネット環境があれば「いつでも」「どこでも」「最新のがん医療情報」を学べる eラーニング・システムを用いた講義です。「日本を代表する講師陣」による、全 20 科目（各 60 分）の講義視聴とレポート提出、修了試験から構成される【前期】と、前期で学習した知識を活用するための実践的少人数学習プログラムの【後期】で構成されます。前期・後期すべて修了した方が、キャンサーネットジャパンが認める「乳がん体験者コーディネーター」と認定されます。

※前期の講座を受講し、修了試験に合格された方は「乳がん体験者コーディネーター養成講座修了生」となり、後期の受講資格があります。（前期修了のみでは、「認定」とはなりませんのでご注意ください）。

02. 受講期間

前期受講期間：2014 年 7 月 4 日（金）～ 2014 年 11 月 30 日（日）

後期受講期間：2015 年 1 月～ 3 月を予定

前期、後期ともに、カリキュラムにある各講義の web 公開日以降、受講期間内は何回でも視聴が可能です。この期間を過ぎますと視聴及び資料ダウンロードはできませんのでご注意ください。

03. FAQ よくある質問

Q1. 乳がん体験者コーディネーター養成講座とはどんな講座ですか？

2007 年 6 月に閣議決定された「がん対策基本計画」には、「今後は、基本計画に基づき、国及び地方公共団体、また、がん患者を含めた国民、医療従事者、医療保険者、学会、患者団体を含めた関係団体及びマスメディア等（以下「関係者等」という。）が一体となってがん対策に取り組み、がん患者を含めた国民が、進行・再発といった様々ながんの病態に応じて、安心・納得できるがん医療を受けられるようにするなど、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんに向き合い、がんに負けることのない社会の実現を目指すこととする。」と言及されています。

異なる立場の方々が共同しこの目的を達成するためには、がんに対する一般的知識、その他がん医療情報に関する知識、及び最新の情報にアクセスするスキルは最低限の必要条件になります。

この講座は、これら異なる立場の方々の中で、乳がん体験者の立場、乳がん患者支援者が、がん医療に関与するための「乳がん医療情報」に特化した養成講座になっています。

Q2. どのような方が受講されていますか？

2007 年 4 月に第 1 期を開講し、以降 9 期まで、様々な立場の 258 名を超える方々に受講頂きました。

- ・乳がん体験を持ち、今後がん医療への関与を希望する方々
- ・がん患者団体等でピア（体験者）の立場として患者相談などの活動をされている方々
- ・医療機関に勤務する医療者（看護師・薬剤師・ソーシャルワーカーなど）で乳がん体験を有する方々
- ・乳がん患者（乳がん体験者）を持つ家族・遺族で、今後がん医療に関りを持ちたいと考える方々
- ・製薬企業で営業・開発・教育研修を担当している方々
- ・医療、社会保障、科学等を担当するジャーナリストの方々

Q3. 認定者・修了者は、どのような形で活動されていますか？

受講生のほとんどは仕事を持ちながら、本養成講座を受講され、修了・認定後はご自身の仕事の中で、本プログラムで習得されたがん医療情報の基本的知識、最新の情報へのアクセスのスキル等を活用頂いております。今後は、Q1の説明にもあるように、病院や公的機関だけでなく、民間企業等様々なところで、がん医療情報の基礎的知識を有する人材のニーズが高まると思われれます。

04. 乳がん体験者コーディネーター養成講座受講者の声



山崎 多賀子

BEC 第3期認定者
(養成講座プログラムアドバイザー)

*雑誌「STORY」等で活躍中の美容ジャーナリスト。著作に『キレイに治す乳がん 宣言!』等。

乳がんを患い、右乳房全摘出、再建、抗がん剤、分子標的薬、ホルモン療法と治療を経験した私が、乳がん体験者コーディネーターの勉強をしようと考えたのは、ある医師の言葉からでした。

「乳がんを体験したからといって、誰もが患者さんをサポートできるわけではありません。正しい情報を知識として幅広く身につけることで、はじめて人の力になることができるのです」と。本当にその通りだと思いました。私は病気を雑誌や本で公表したことで、乳がんについて相談や質問を受ける機会が増えました。雑誌や本の執筆のために取材をしていたので、そこそこ知識もあるつもりでしたが、実際は明確に答えられないことが山ほどあったのです。その方の人生に関わることを、誤った情報を流すわけにはいかないと。知識は力であり、私は力不足である、と感じていました。そしてその医師から「日本でもこんな講座があるんですよ。」と CNJ の BEC 養成講座を教えていただいたのが受講のきっかけになりました。

実際に講義を受けてみると、本などで得た情報を曲解していたり、なるほど、そういう意味だったのか、と、ぼんやりしていた知識がクリアになるなど、得るものは大きく、標準治療法が生まれるまでや、社会、患者の変化など、乳がんとその周辺の全体像が見えてきたこと自信につながりました。もちろん受講したからといって、何でもどんと来い、とはいきませんが、正確な情報へたどり着く術が身に付き、以前に比べて迷いなく患者さんの心の不安に対応ができるようになったと思います。そして何より、自分の病気を深く正しく知ることは自分のリハビリに大いに役立っていると思います。



脇田 貴子

BEC 第6期認定者

現在、私は乳腺外科医の夫の乳がん専門クリニックで、事務長としての仕事と乳がんの告知をした患者さんへの説明業務、相談を行っています。再発の方や他院で治療中の方などから様々な相談があります。患者さんの疑問や相談が、医師に質問することか他で聞くことか、内容をまとめ、整理するお手伝いをしています。

毎日の仕事にはやりがいを感じていましたが、沢山の乳がんの患者さんと関わっていくうちに、クリニックの中だけでなく乳がんに関わる広い視野を持ちたくなりました。また、患者でもなく医療資格者でもない私ができることは、偏ることなく患者さんと医療者をつなぐことだと考えていたとき、BEC 養成講座を知りました。

知識の確認だけでなく、自分の考えを広げるきっかけになればと受講を決めました。結果、すてきな仲間とともに新しい世界が広がりました。BEC では EBM(科学的根拠に基づいた医療)の大切さや専門知識、社会との関わりまで幅広く学ぶことができました。

今も日々の仕事の中で乳がん医療の奥深さを実感しています。患者の希望と医療者の意図が正しく伝わりあい、様々な立場の人がお互い理解を深め、納得のいく医療を受けやすくなるようこれからも自分のできることを実践していきたいと思っています。



吉田 羊子
BEC 第 7 期認定者

私は、BEC 認定後に「京都乳がんピアサポートサロン～fellows～」
<http://kyotopeersupport.com/> を立ち上げ、ご縁のあった株式会社大洋堂のご厚意により、場所をお借りして定期的にピアサポート活動を行っています。

私は、リンパ郭清の後遺症のケアを受けながら「このままでは納得できない」と、もやもやしていたときに BEC 養成講座のことを知りました。そのとき「乳がんをもっと知ることで、自分の気持ちも克服できるはず」と思いました。BEC を受講して初めて「ピアサポート」というサポート活動があることを知りました。認定後、何かをしたくても何ができるのかわからないという気持ちを CNJ に相談したところ「あなたが、何をしたいのかを明確にしたら、CNJ はそれに対してできる限りの支援をします」というお返事をいただきました。

それを機に自分の気持ちを見直し、やりたいことを整理し、少しずつ前進してきた結果が今に繋がっています。今は個人での取り組み、小さな活動かもしれませんが、志をもつ全国の皆さんと連携していくことで、サポート活動が広がっていくことを願っています。



与儀 淑恵
BEC 第 8 期認定者

2005 年、入院中に知り合った仲間 5 名で NPO 乳がん患者の会“びんく・ばんさあ”を発足。2010 年に沖縄県内の乳がんを患った女性が、共に学び励まし合う情報交換スペースとして、ピアサポートサロン“びんく・ばんさありボンズハウス”を開設し、週 4 日間オープンしています。

美容ジャーナリストの山崎多賀子さんを講師に招き、サロンで開催した『抗がん剤治療中の方のためのメイクアップ講座』。山崎さんのパワーは、参加者みんなをキレイに、そして笑顔にしてくれました。その山崎さんが BEC3 期生だったことが、私が BEC 養成講座を知ったきっかけです。

前期講座終了後の後期講座と全体発表の場は、全国各地から集った素晴らしい 8 期生との出会いの場でした。乳がんについて学び、様々な思いを抱いて乳がんに向き合い行動を開始した方、しようとしている方。さっそく、同じ 8 期で知り合った NPO 法人 E-BeC の真水美佳さんに、沖縄で乳房再建キャラバンを開催していただき、乳房再建の新しい情報をサロンから発信することができました。

患者会・サロンの活動によって、沖縄県の離島をはじめ県内各地にネットワークができましたが、養成講座を通し、今後は日本各地にネットワークが広がりそうです。

聖マリアンナ医科大学病院
患者会 マリアリボン世話人
久米 陽子・岩澤 玉青・
野島 由美・ほか一名
BEC 第 9 期認定者

治療中に知り合った患者仲間と話せば話すほど自分たちが救われました。話せば話すほど楽になりました。

患者同士が知り合うことの大切さを実感し、ソーシャルワーカーの方にご相談させていただきながら乳腺外科部長の先生と一緒に患者会を開催しております。聖マリアンナ医科大学病院 乳がん患者会「マリアリボン」は 2014 年 5 月 30 日で一周年となります。

患者会で月に一度のおしゃべり会をする中で、正しい知識の必要性を強く感じ、メンバー 4 名で「乳がん体験者コーディネーター」を受講しました。全 20 コマの講義のレポートや試験は大変でしたが、講座を受けることが出来て本当によかったです。講座を受けずに患者会を続けていたら、と思うとゾッとするくらいです。

これからも癒しのおしゃべり会、勉強会、クリスマス会を続けていきます。また、何か手作りのものを作る企画（例えば帽子やアクセサリーやお花など）も進行中です。

それぞれがそれぞれの立場で、さらに出来ることをさがしていきます。

05. 開講の背景

(1) 日本におけるがん医療環境と現状

直近の統計では、日本におけるがん罹患全国推計値は749,767例(2008年)、また死亡者数は360,963人(2012年)となっており、今後も増加が予測されています。一方、欧米、特に米国においては官民一体となった早期診断・早期治療の普及・啓発、臨床試験の普及・啓発・実施、それらから得られる標準的治療の普及により、死亡率に歯止めがかかり、乳がんなど特定のがん腫においては、死亡率の低下を達成しているのです。ただ、日本では乳がんは増加傾向にあり、女性のがん罹患率としては最も高く、このため社会の関心も高くなっています。さらに、乳がん患者は、乳がんという病名告知と同時に、その治療の過程において様々な決定を迫られます。治療では女性の象徴でもある乳房の喪失・変化を伴う可能性が多く、診断から早期治療決定の時期において非常に大きなストレス下におかれるのです。近年、種々の治療法の進歩により乳がんにおける無再発生存率は改善を見せているものの、手術療法・放射線療法・ホルモン療法・化学療法などに起因する副作用は、乳がん患者のQOLに大きな影響を与え、主たる治療終了後、長期間に渡り再発の恐れと不安にも直面することになります。

(2) 近年のがん医療の変化

このような状況を鑑み、国家レベルの取り組みとしては、厚生労働省は国立がんセンターを中心とし、各都道府県にがん診療連携拠点病院の設置を進める他、2006年10月には医療者向け、患者向けの「がん対策情報センター」を開設し、「がん対策推進」を図っています。また、2007年4月からは、これらの問題解決を更に加速させる役割を持つ「がん対策基本法」も施行され、同年6月には「がん対策推進基本計画」も閣議決定されるに至り、2012年には更に現状に即した改訂がなされました。

以上のような背景により成立した「がん対策基本法」の基本理念にもある「科学的知見に基づく適切ながんに係る医療を受けることができるようにすること」、「がん患者の置かれている状況に応じ、本人の意向を十分尊重してがんの治療方法等が選択されるようがん医療を提供する体制の整備がなされること」を広く実現するためには、医療提供側・医療者のみの変革だけでなく、同時に患者が医療消費者として、信頼性の高い情報にたどり着き、情報を理解し、患者が主体的に治療を選択できる環境の構築も必要となります。

(3) がん患者・家族・国民が置かれた環境

しかしながら、医療消費者として、患者が主体的に情報を入手し、治療法を選択する事は、種々の要因により大変困難な状況にあります。米国では、患者が良質ながん医療情報を得るために、種々のインフラが整備されている一方、日本では情報の量・質共に未だ十分なものとは言えません。さらに、急速なインターネットの普及により、がん患者・家族が専門知識なく一般的な検索ワードを検索エンジンに用い調べる場合、その検索結果数は数十万から数百万という膨大なものであり、それらの情報の重み付け、信頼性の評価はほぼ不可能に近い状況にあります。

(4) がん患者・家族が直面する問題

がん患者・家族が「がん」と診断され直面する問題は、3つに大別されます。一つは、自身の治療上の決定における医療情報、各種治療の自身への影響、すなわち効果・有害事象(副作用)など体への影響、「Physicalな問題」、2つ目は「がん」という診断に対する不安、治療の効果・有害事象(副作用)などに対する不安、生活・将来への不安などの「Mentalな問題」、3つ目として、高騰化する医療費に関わる経済的な問題の他、医療制度に関する問題、すなわち「Practicalな問題」です。

(5) がん対策推進の取り組み

「がん対策基本計画」には、「今後は、基本計画に基づき、国及び地方公共団体、また、がん患者を含めた国民、医療従事者、医療保険者、学会、患者団体を含めた関係団体及びマスメディア等(以下「関係者等」という。)が一体となってがん対策に取り組み、がん患者を含めた国民が、進行・再発といった様々ながんの病態に応じて、安心・納得できるがん医療を受けられるようにするなど、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんと向き合い、がん

に負けることのない社会」の実現を目指すこととする。」と言及されています。

すなわち、これまで行政、医療者主体で進められてきた「がん対策推進」に、がん患者を含めた国民他、様々な立場の団体・関係者が関与するよう求められているのです。

このような背景を考慮すると、乳がんを体験し、克服した患者・家族は、様々な点において、今後発症する乳がん患者・家族にとって、有益な情報源・候補者となると考えられます。実際に、米国を始め、先進諸国においては、がんを克服した患者を「Cancer Survivor: キャンサーサバイバー」と呼び、尊敬を集める存在となり、加えて乳がん早期診断と早期治療の啓発者として活躍しています。

そこで2007年4月、NPO法人がんネットワークジャパンでは、患者・家族のニーズに応えるべく、民間レベルにおいて、信頼性の高い、科学的根拠に基づいた、その時々における良質で信頼性の高い乳がん医療情報を提供し、かつそれらの乳がん特有の医療情報等を患者の言葉にし、伝えることのできる「認定乳がん体験者コーディネーター」の人材養成講座をスタートさせ、今期、10期を迎えるに至りました。

06. 開講の目的

乳がんと診断され直面する問題（主として乳がん医療情報に関する問題）を、解決できる・あるいは解決に導く既存の信頼性の高い情報にアクセスし、提供できる能力を習得します。「認定乳がん体験者コーディネーター」は、乳がん医療情報（治療法他に関する情報）に特化したものとします。本養成講座により「認定乳がん体験者コーディネーター」を養成・輩出し、国が掲げる「がん対策推進」に寄与し、日本における民間組織（NPO法人）の役割を果たし、これをもってがん医療へ貢献することとします。

なお、本講座は「こころのケア」「カウンセリング」のスキルを学ぶものではありません。CNJのピアサポートに携わる上で必要と考える知識を学ぶことができますが、ピアサポーターの養成を、直接の目的としていません。

07. 受講資格

- ・主たる治療（手術・放射線療法・薬物療法など）を終了した乳がん体験者
- ・乳がん患者を持つ成人家族
- ・その他 NPO 法人がんネットワークジャパンが認める者等^{注)}

^{注)}「認定乳がん体験者コーディネーター」に求められるものは、信頼性の高い乳がん情報にアクセスし、乳がん患者の立場に立ち情報を提供する能力であり、原則的に、受講者の資格・バックグラウンドは重要でないと考えており、志しあるその他の者についての門戸も開かれています。

- ・基本のパソコン操作ができ、資料のダウンロード、WORD を使用しての添付、送信ができる方

※本養成講座では、受講者に対する個別のパソコン環境、動作環境に関する問い合わせには対応できませんので、上記の通り、受講前に必ずコンテンツが再生可能であるかどうかの確認をして下さい。以下は、ウェブ・ラーニング・システムに必要なパソコン環境の情報です。

■回線速度／ 350kbps 以上

■OS／ 【Windows の場合】 2003, 2008, XP, Vista, Windows7, Windows8

【Macintosh の場合】 Mac OS 10.4.8 以降

■ソフトウェア／ ブラウザ: 【Windows の場合】 Internet Explorer 6.0 SP1 以降 (推奨)、FireFox2.0 以降、Google Chrome 1.0, Windows Media Player9 以降。

【Macintosh の場合】 Safari 2.0.4 以降、Firefox 2.0 以降

※ Macintosh の場合あるいは Windows で Internet Explorer 以外のブラウザを使用する場合は Microsoft Silverlight1.0 以上が必要です。マイクロソフトのサイトからダウンロードするか、以下のがんネットワークジャパンの URL (<http://www.cancernet.jp/video/>) よりインストールして下さい。

■ハードウェア／ CPU: Pentium4800MHz 以上 または PowerPC G3 以上

メモリ: 512MB 以上 (Vista の場合は 1GB 以上)

08. 受講料（消費税込み）

(1) 乳がん体験者コーディネーター養成講座【前期】受講料

割引申込期間 (2014年7月31日(木)まで)	通常申込期間 (2014年10月31日(金)まで)
¥80,000-	¥90,000-

但し、5名以上で受講申し込みを行う場合は、受講料の優遇制度を適応致しますので、事前にキャンサーネットジャパン事務局 までメール < info-bec@cancernet.jp > にてお知らせ下さい。

【BEC/CIN 1期～9期既受講に対する受講料特典】

既に、BEC/CIN 養成講座の1期～9期を受講された方に対する受講料特典制度です。各領域における最新情報のキャッチ・アップにご利用下さい。なお、認定者(前期・後期修了)が本講座を受講された場合は、BEC 認定継続要件(15ポイント)を満たすものとします。該当者は、Webサイトの申込フォームの通信欄に「BEC/CIN ○期 受講」等、必ずご記載下さい。

	BEC2回目・CIN既受講	BEC3回目以降
受講料	¥45,000- (正規料金の50% off)	¥22,500- (正規料金の75% off)

(2) 乳がん体験者コーディネーター養成講座【後期】受講料

但し、後期講座は、前期講座を修了した方のみがお申し込み可能です。

受講料	¥50,000- (登録料・登録管理料3年分含む)
-----	---------------------------

09. 申込期間

2014年5月7日(水)～10月31日(金) 割引申込期間：2014年5月7日(水)～7月31日(木)
通常申込期間：2014年8月1日(金)～10月31日(金)
※受講料が異なりますので、ご注意ください。

10. 受講の手続き

(1) 申し込み方法

前項9.の申し込み期間内に、株式会社ソラストホームページよりお申し込み下さい。
ソラストホームページ <http://solasto-learning.com/>

なお、申し込み時に支払い方法を選択頂きます。支払い方法は、一括払いと分割払いの選択が可能です。

一括払い：郵便局の窓口、または最寄りのコンビニエンスストアで支払い。
分割払い：学費ローン(3・6・10・12回払いから選択可能)。

(2) 受講申し込み受付と 受講料支払い

一括払いの方には、「受講料の支払い案内・振込用紙」をご郵送いたします。
お近くのコンビニエンスストアもしくは郵便局でお支払い下さい。
分割払いの方には、信販会社からご案内のメールが届きます。ご案内に沿って手続きを行って下さい。

(3) ID、パスワードの発行

ご入金の確認次第（分割払いの場合は信販会社の審査通過次第）、オンデマンド・ウェブ・ラーニング・システムを受講頂くための「受講ID」と「パスワード」を発行し、ソラストからメールにてお送りいたします。

なおシステム上、ご入金から入金確認までに数日かかる場合がございますのでご了承ください。

(4) 受講開始

後述の受講方法に基づき、受講を開始して下さい。

※株式会社ソラストでのお申し込み・ご入金手続き完了後、キャンサーネットジャパン事務局より、受講にあたってのご案内メールをお送りいたします。

11. 受講の方法（前期・後期共通）

(1) 受講環境の準備

パソコンをインターネットに接続し、以下のURLにアクセスして下さい。

<http://www.cancernet.jp/training/bec>

(2) 「BEC 受講生専用視聴ページ」をクリック



<http://www.cancernet.jp/training/bec> の画面上に表示される「BEC 受講生専用視聴ページ」のバナーをクリックして下さい。受講ログイン画面へ進みます。ログイン画面では、「ユーザー名」と「パスワード」が求められます。「ユーザー名」には、事前にお知らせする「受講者アカウント」を、「パスワード」には「受講者パスワード」を入力します。「ユーザー名」、「パスワード」を入力完了後、「ログインボタン」をクリックして下さい。講義視聴画面が表示されます。

(3) 講義資料（PDF）のダウンロード

- ①はじめに講義視聴画面の各講義の「Links」をクリックして講義資料のタイトルを表示して下さい。
- ②講義資料のタイトルをクリックすると「ユーザー名」と「パスワード」の入力画面が表示されます。
- ③講義資料のタイトル下（または横）に記載されている講義資料ダウンロード用の「ユーザー名」と「パスワード」を入力して下さい。PDFデータが表示されます。

(4) 講義の視聴

講義視聴画面の講義名のタイトルをクリックし、視聴を開始して下さい。

※視聴および資料ダウンロード期間は、2014年7月4日～2014年11月30日ですので、ご注意下さい。

12. 前期の講座内容

オリエンテーションを含む全20科目の受講（視聴）と、オリエンテーション・ラップアップを除く18コマのレポート提出（WordファイルE-mail添付にて提出）が、前期修了試験の受験資格となり、修了試験に合格することが、前期講座修了要件となります。※講義視聴履歴の管理、及び責任は受講者各自に委ねられます。

13. 前期修了試験

■乳がん体験者コーディネーター前期修了試験概要

この修了試験は、「科学的根拠に基づく医療情報」、「信頼性の高い医療情報」にアクセスし、回答を得る能力を確認する試験です。インターネット環境で、ご自宅での受験が可能です。

■修了試験の日程

テスト配信日時：2014年12月5日(金) 正午～12月7日(日) 正午

解答提出期限：2014年12月7日(日) 正午まで

■合否判定

本試験の合否基準は、「科学的根拠に基づく医療情報」、「信頼性の高い医療情報」にアクセスし、回答を得る能力のみであり、受験者間での相対評価、事前の合格者数の設定は行なっていません。また、合否に関する個別の問い合わせ、合否基準に関する問い合わせには対応致しません。

■修了証

試験合格者には、乳がん体験者コーディネーター前期プログラム修了証を発行致します。なお、試験不合格で、再受験を希望する場合は、次クール(11期)以降の受験(受験料¥5,000)が可能です。

合否発表は、2014年12月15日(月)を予定しています。

14. 後期講座の内容

乳がん体験者コーディネーター養成講座(前期)修了者は、前期で習得した系統的知識、乳がん医療情報の扱いを実践に活かすための演習を主眼とした養成講座(後期)の受講資格を得ます。

後期プログラム修了者をNPO法人がんネットジャパン認定乳がん体験者コーディネーターとし、認定証を発行します。

後期講座は、2015年1月～3月の開催を予定しており、詳細は2014年11月頃に受講生にお知らせいたします。後期プログラムは、下記を予定しています。

(1) Web 講義

- ①がん医療を取り巻く各職種とBECに期待される役割、Must do 5、Must not do 5
- ②患者支援と法律
- ③コミュニケーション・スキル

(2) ケーススタディ・ ロールプレイ

各1回、同日午前・午後実施。個別スケジュール調整にて、東京・大阪での開催を予定しています。5～8名程度の少人数で実施。平日・土日含む数日の候補日を設定し、調整します。

(3) 全体発表・修了式 (東京での開催)

講座(前期・後期)受講を振り返り、全体を通じて学んだこと、反省点、要望点などに加え、今後の活動の展望について、各自5分程度の発表を行い、全員で学びをシェアリングします。2015年3月中旬を予定しています。

注:(2)の開催地については、東京・大阪以外にも、受講生が5名前後集まる事が可能な場所(開催地)が調整できる場合、地方での開催も考慮致します。第6期では、相良病院(鹿児島)様(<http://www.sagara.or.jp/index.html>)の申し出を受け、同病院での出張後期プログラム開催をいたしました。開催場所の提供を考慮頂ける方・病院・クリニック様については、CNJ事務局BEC問合せ先(info-bec@cancernet.jp)までお知らせ下さい。

15. 乳がん体験者コーディネーター認定までの流れ

■養成講座（前期）

- (1) 全 20 講義の視聴とレポート提出
 - (2) 前期修了試験受験
- 合格→ 養成講座前期修了（修了証を発行）
 ※試験不合格の場合は、次クール（11 期以降）
 で再受験可能（別途受験料がかかります）



■養成講座（後期）

- (1) 全 3 講義の視聴とレポート提出
 - (2) ケーススタディ・ロールプレイ（1 日、対面）
 - (3) 全体発表・修了式
- 認定乳がん体験者コーディネーターとして登録

※後期講座に進んでいただいた方でも、キャンサーネットジャパンが BEC としてその素養に相応しくないと判断した方は、認定しない場合があります。その場合、後期講座の受講料は返金いたします。

16. 認定後の各種手続きと認定継続要件等

乳がん体験者コーディネーター養成講座後期修了者は、NPO 法人キャンサーネットジャパン認定乳がん体験者コーディネーターとして、NPO 法人キャンサーネットジャパン内「BEC/CIN 認定継続フォローアップ委員会」に登録頂きます。

当委員会は、認定者の認定継続と質の管理、フォローアップのための研修・情報発信等を行います。認定は 3 年間の更新制となり、3 年間で下記、＜認定継続に必要なポイントの内容について＞に定める認定継続要件である 15 ポイント以上の活動を必須とします。認定者の継続学習や認定継続に関する窓口は、全てこの委員会が行います。3 年経過後の更新時には 15,000 円の更新料を申し受けます。

＜認定継続に必要なポイントの内容について＞

認定を更新するための条件である更新ポイントは 15 ポイントです。

1. 継続学習の機会への参加
 - * CNJ が主催・共催・後援するイベント 2P
 - * CNJ が認めるがん関連学会 3P
 - * 科学的根拠に基づき、情報発信しているセミナー・シンポジウムへの参加 1P
- (ご報告内容に基づき、ポイント対象から除外させていただく場合もありますので、ご不明な場合は事前にお問い合わせ下さい。)
2. 相談活動に従事 3P
3. 講演等の啓発活動 3P
4. 啓発・支援活動の企画・実施 2P
5. BEC/CIN 養成講座受講 15P

なお、更新に必要なポイントとして、CNJ のビデオライブラリー <http://www.cancernet.jp/video> の視聴も 1P となります。

17. 認定後の活動

本養成講座を受講され、修了・認定された方々は、ご自身の仕事の中で、またはボランティア活動や患者会活動において、本プログラムで習得されたがん医療情報の基本的知識、最新の情報へのアクセスのスキル等を活用頂いております。

更に、NPO 法人キャンサーネットジャパンが企画・運営する各種セミナー・プログラム（「CNJ がん情報ステーション」、「CNJ がん医療セミナー」、「外部研修プログラム」など）、また、病院内外でのピアサポーターとして活躍されているほか、民間企業、自治体等によるがん医療啓発活動での講演などでも活躍されています。ただし、本講座では認定後の職業の保証はいたしません。

第10期生乳がん体験者コーディネーター養成講座（前期）カリキュラム

※担当講師は変更される場合があります。変更の際はホームページ等で案内致します※

講義	公開日時	講義時間	科目	10期担当講師
1	7月4日 (金)	40	BEC 養成講座オリエンテーション	川上 祥子 (NPO 法人キャンサーネットジャパン)
2		60	インターネットを使ったがん医療情報の収集	後藤 悌 (東京大学)
3	7月18日 (金)	60	がんにおける臨床試験と生物統計	山中 竹晴 (国立がん研究センター)
4		60	がんにおけるEBMとガイドライン	勝俣 範之 (日本医科大学武蔵小杉病院)
5	8月1日 (金)	60	乳がんの原因と予防	山本 精一郎 (国立がん研究センター)
6		60	乳がん検診と診断の進め方	土井 卓子 (湘南記念病院)
7	8月15日 (金)	60	乳がんと診断されたら・初期治療を受けるにあたって	山内 英子 (聖路加国際病院)
8		60	乳がんの病理	堀井 理絵 (がん研有明病院)
9	8月29日 (金)	60	乳がんの手術	中村 清吾 (昭和大学)
10		60	乳房の再建	三鍋 俊春 (埼玉医科大学総合医療センター)
11	9月12日 (金)	60	乳がんの薬物療法①「術前・術後薬物療法」	高野 利実 (虎の門病院)
12		60	乳がんの薬物療法②「転移性乳癌薬物療法」	高野 利実 (虎の門病院)
13	9月26日 (金)	60	乳がんの放射線治療	関口 建次 (聖路加国際病院)
14		60	初期治療後の診察と検査／転移・再発	佐々木 康綱 (昭和大学)
15	10月10日 (金)	60	がん医療におけるサイコオンコロジーとは？	大西 秀樹 (埼玉医科大学総合医療センター)
16		60	がん医療における緩和ケア（主として疼痛緩和）	金石 圭祐 (JCHO 東京新宿メディカルセンター)
17	10月24日 (金)	60	がんに対するサプリメントなど代替療法	大野 智 (早稲田大学)
18		60	若年者の乳がん	山内 英子 (聖路加国際病院)
19	11月7日 (金)	60	BEC 養成講座（前期）総括講義： 知っておくべき乳がんの知識	池田 正 (帝京大学)
20		60	前期プログラムラップアップ	川上 祥子 (NPO 法人キャンサーネットジャパン)

第10期生乳がん体験者コーディネーター養成講座スケジュール

